

1 国際技術協力

本市上下水道局は、「北九州市上下水道事業中期経営計画」において、「本市が持つ技術力・経験を活かした国際貢献」を重点施策に掲げ、国際技術協力に取り組んでいる。

現在は主として、カンボジア、ベトナム、中国、インドネシア、ミャンマー等への国際技術協力を行っている。

また、本市は、17のゴールを定めた「SDGs(持続可能な開発目標)」の達成に向けて、アジア地域で初となるOECDの「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」(平成30年4月)、また、自治体のモデルとなる国の「SDGs未来都市」(平成30年6月)に選定された。

そのため、上下水道局では、SDGsの6番目の目標である「安全な水とトイレを世界中に」の達成という視点からも、引き続き国際技術協力に取り組んでいく。

主な取り組み

(1) カンボジア国

○ 上水道分野

カンボジア国は、内戦が終息した平成3年以降、「水へのアクセス」を国復興のための最重要課題として取り組んでおり、都市部及び郡部の国民に対して「水アクセス」を可能とする国家目標掲げ、諸対策を実施している。本市上下水道局は、厚生労働省及びJICA(独立行政法人国際協力機構)の要請を受け、人材育成を目的とした技術協力に参画している。

【プノンペンへの技術協力】

本市は、平成11年から平成18年まで技術協力や人材育成に努め、飲用可能な水道水の供給、無取水量率の低減(平成18年10月時点で8%)及び24時間給水の実現等、プノンペン水道公社は飛躍的な向上を成し得た。

- ① 個別専門家派遣事業(平成11年度～平成14年度)
「水道施設の運転維持管理」を指導テーマに専門家を派遣した。
- ② 小規模開発パートナー事業(平成13年度)
「同一配水システムの構築を目指す都市への技術・機材移転」をテーマに、専門家派遣と機材供与(本市所有のテレメータ31基)を行った。
- ③ カンボジア国水道事業人材育成プロジェクト(平成15年10月～平成18年10月)
プノンペン水道公社の人材育成を目標としたプロジェクトを行った。
- ④ CLAIR自治体職員協力交流事業(平成19年7月～現在)
プノンペン水道公社から研修員を受入。

フェーズ2
カンボットでのバルブ操作の指導

【地方8都市への技術協力】

- ⑤ カンボジア国水道事業人材育成プロジェクト フェーズ2
(平成19年5月～平成24年3月)
シェムリアップなど地方8都市において、水質分析技術、浄水処理技術、配水施設の維持管理など水道技術の向上に取り組んだ。
- ⑥ カンボジア国水道事業人材育成プロジェクト フェーズ3
(平成24年11月～平成30年6月)
上記地方8都市において、水道局の経営能力向上を目的とした事業を実施。地方8都市から研修生を受入れ、職員派遣を実施。
- ⑦ シェムリアップ市における水道施設管理能力の向上事業
(平成25年度～平成27年度)
活用事業:JICA草の根技術協力事業
- ⑧ カンボジア国水道行政能力向上プロジェクト
(平成30年7月～平成34年6月)

フェーズ3
シハヌークビルで料金徴収事務の指導

○ 下水道分野

プノンペン都の下水道整備、水環境改善に向け、JICA、国土交通省、民間企業と連携した技術支援を開始。

- ① 下水・排水改善に関するマスタープランを作成するため、JICAとともに詳細計画策定調査を実施(平成26年4月)
- ② プノンペン都下水・排水施設管理能力向上プロジェクト(平成28年度～平成31年度) 活用事業:JICA草の根技術協力事業

フェーズ3
研修員 本城浄水場 U-BCFを見学

(2) 中国・大連市

○ 上水道分野

本市と友好都市関係にある中国大連市で水道事業を行っている「大連市自來水集団有限公司」に対し、JICA草の根技術協力事業等を活用した技術協力を実施。

- ① 第一期(平成13年度～平成16年度)
協力テーマ:「漏水防止による第二水源開発」
活用事業:CLAIR自治体職員協力交流事業(研修員受入)
JICA草の根技術協力事業
- ② 第二期(平成17年度～平成19年度)
協力テーマ:「安全・安定給水の向上」
活用事業:JICA草の根技術協力事業
- ③ 第三期(平成20年度～平成23年度)
協力テーマ:「大連周辺都市への技術協力」
活用事業:JICA草の根技術協力事業

○ 下水道分野

平成23年4月、大連市城市建設管理局と覚書を締結し、技術交流を進めている。
(平成24年度)

- 大連市政府関係者受入
- 大連市城市建設管理局職員受入(活用事業:CLAIR自治体職員協力交流事業)
(平成26年度)
- 大連市城市建設管理局幹部を招聘

水質試験指導

(3) ベトナム・ハイフォン市

○ 上水道分野

平成21年12月にハイフォン市水道公社と技術協力基本指針の覚書締結を契機に本市の高度浄水処理技術の移転を目的とした技術協力を開始した。

- (平成22年度～平成24年度)
実施事業:有機物に対する浄水処理向上プログラム
活用事業:JICA草の根技術協力事業
- (平成25年度～平成27年度)
実施事業:配水管網管理の能力向上事業
活用事業:JICA草の根技術協力事業

JICA草の根 ハイフォン市での流量計現地確認

○ 下水道分野

平成22年11月、ハイフォン下水道排水公社(SADCO)と覚書を締結し、技術交流を開始。平成26年10月、ハイフォン市との姉妹都市協定(H26.4)に基づき、これまでの技術交流を継続して取り組むための覚書を締結。

- 活用事業:CLAIR自治体国際協力促進事業(平成23年度～平成24年度、平成26年度～平成27年度)
JICA草の根技術協力事業(平成24年度～平成25年度、平成26年度～平成28年度、平成30年度～平成32年度)
CLAIR自治体職員協力交流事業(平成26年度)
- 実施内容:研修員受入、現地技術指導、現地セミナー開催

(4) インドネシア

○ 下水道分野

首都ジャカルタ特別州や本市の環境姉妹都市であるスラバヤ市の水環境改善に向け、国土交通省や民間企業と連携した技術支援を開始した。

- 活用事業:CLAIR自治体職員協力交流事業(平成25年度)
JICAインドネシア国ジャカルタ特別州水関連問題改善のための能力向上プロジェクト詳細計画策定調査(平成26年6月～7月)
- 実施内容:研修員受入、現地調査
- 活用事業:独立行政法人国際協力機構(JICA)の「ジャカルタ特別州下水道整備にかかる計画策定能力向上プロジェクト」(平成27年～平成29年)
- 実施内容:職員をチーフアドバイザーとして長期派遣

本市の水道技術について講義

(5) ミャンマー・マンダレー市

○ 上水道分野

平成25年12月より、マンダレー市の要請により技術協力を開始。浄水施設(消毒設備)を改善し、安全な水の安定供給を確保するとともに、浄水場の適正な運転・維持管理指導、水質分析技術の向上を図っている。

- 活用事業:JICA草の根技術協力事業

JICA草の根 ミャンマー マンダレー市長来日
北橋市長を表敬

(6) その他

国際協力機構(JICA)等の実施する研修を研修実施機関(北九州国際技術協力協会「KITA」等)の依頼により実施した。

職員派遣・研修員受入実績 (平成30年3月末)

	海外への職員派遣		海外からの研修員受入	
	延べ人数	国数	延べ人数	国・地域数
上水道	138人	7ヶ国	1,669人	128ヶ国
下水道	59人	10ヶ国	4,117人	133ヶ国

下水道施設維持管理の技術指導